

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3149218号
(U3149218)

(45) 発行日 平成21年3月19日 (2009. 3. 19)

(24) 登録日 平成21年2月25日 (2009. 2. 25)

(51) Int.Cl.

A 4 7 K 10/02 (2006. 01)

F 1

A 4 7 K 10/02

Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願2008-8956 (U2008-8956)
(22) 出願日 平成20年11月26日 (2008. 11. 26)

(特許庁注：以下のものは登録商標)

1. マジックテープ

(73) 実用新案権者 506106291

堀口 緑

埼玉県秩父郡長瀬町大字長瀬 1 3 6 3 番地
1

(72) 考案者 堀口 緑

埼玉県秩父郡長瀬町大字長瀬 1 3 6 3 番地
1

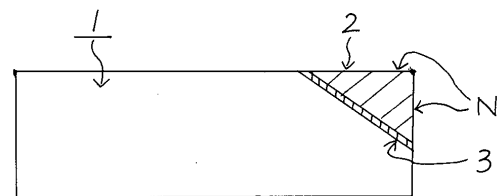
(54) 【考案の名称】 マジックタオル

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 小物、貴重品等に入れられるポケットを付けたタオルを提供する。

【解決手段】 タオルにポケットを付けている。タオルは、タオル地を使用し、ポケットの周りを縫い合わせ、一箇所をマジックテープまたは、ファスナー（チャック）で止められるようにして、タオルのポケットから入れた物が外に落ちないようにする。さらに、ポケットの中に水の浸入を防ぐビニール等を縫いこんで、濡れるのを防ぐポケットも作る。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

細長いタオル、フェイスタオル、バスタオルと名前のあるタオルに、直接ポケットを縫い付け、タオルにポケットが付いた形状でのタオル用具。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、運動時や日常に使用するタオルに関する。

【背景技術】

【0002】

従来タオルには、物を入れる場所がなく、タオルとバックは別物であった。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

しかし、これでは、タオルにはタオルという機能しかなく、顔を洗った時に拭く。汗を拭く。入浴時に使う。首にかける。用途としては様々ではあるが、ランニング姿でポケットのない服装の時等に、小銭等の貴重品を入れておく場所がなく不便である。また、小銭を持つ為にはバック、またはお財布を持たなければならなかった。

【課題を解決するための手段】

【0004】

そこで、タオル地の四隅、角、真ん中、タオル内のどこにでもポケットを付けて多様化できるように考案した。ただし、一本のタオルにバッグのようにたくさんの物を入れるのではなく、小物、貴重品等に入れられるポケットを付けます。

【考案の効果】

【0005】

よって、本考案のマジックタオルにより、タオルの中にポケットがあるので、散歩や運動時等にタオルの中に貴重品等を入れておけるので、ポケットのないランニング姿等の軽装時でもタオルを一本持てば、安心して出かけることができる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0006】

本考案に係るマジックタオルは、図1に示すように、タオルにポケットを付けている。タオルは、タオル地を使用し、ポケットの周りを縫い合わせ、一箇所をマジックテープまたは、ファスナー（チャック）で止められるようにして、タオルのポケットから入れた物が外に落ちないようにします。さらに、ポケットの中に水の浸入を防ぐビニール等を縫いこんで、濡れるのを防ぐポケットも作ります。

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】 本考案に係るマジックタオルに、ポケットを縫い付けマジックテープまたは、ファスナー（チャック）で止めた状態の図である。

【符号の説明】

【0008】

- | | |
|---|------------------------|
| 1 | タオル |
| 2 | ポケット |
| N | ポケットを縫い付けた部分 |
| 3 | マジックテープまたは、ファスナー（チャック） |

10

20

30

40

【図 1】

